

久留米市のあゆみ【大正】

大正元年	縄手町に上久留米駅が設置され、大川軽便鉄道上久留米若津間が開通
大正2年	三井電気軌道日吉町福島間が開通
大正3年	筑後川豆津橋(木橋)が完成 市内にガス供給が開始 久留米俘虜収容所(ドイツ兵)が設置される
大正5年	三井電気軌道久留米甘木間が開通(宮ノ陣橋は徒歩連絡)
大正6年	三潞郡鳥飼村と合併
大正7年	九州大学医学部宮入慶之助助教授が日本住血吸虫病研究のため長門石を調査
大正8年	久留米高等女学校にてドイツ兵捕虜により「第九」が演奏される
大正9年	第1回国勢調査、9,223世帯、49,591人
大正10年	水害 ほとんどの橋が流失する(筑後川三大水害)
大正11年	私立南筑中学校が開校
大正12年	三井郡節原村と合併
大正13年	九州鉄道(現西鉄)久留米福岡間が開通 三井電気軌道が九州鉄道(現西鉄)に吸収される 宮ノ陣橋が完成 三井郡国分町と合併
大正14年	陸軍18師団が廃止され、12師団が移駐する